


1村1自然エネルギー
プロジェクト

平成 27 年 3 月 25 日



団体名 イワヤ株式会社
 職氏名 代表取締役社長 白石 渡



イワヤ株式会社は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要
取組の名称	間伐材等を活用した薪ボイラー（温泉の加温）の日帰り温泉施設への設置
取組の主体	イワヤ株式会社
取組の区域	上田市真田町長 2 8 6 8
取組の構成団体名 （複数の者で構成する場合）	
団体設立年月日	昭和56年9月30日
普及する自然 エネルギーの種別等	木質バイオマス熱
取組の目的	上田市真田町角間溪谷地域において事業主体（温泉事業者）と自治区等（薪の供給、薪ボイラーの維持・管理）が連携を図り、角間温泉の薪ボイラーを運用して源泉を加温し、地域住民や温泉利用者に対して薪を活用した熱エネルギーについてPRを行い、自然エネルギー自給率向上の資とする。
地域関係者との協働 の内容	※有の場合は、連携内容について記載 横沢区、角間区（原木の供給、薪ボイラーの運転・管理等）
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④ その他 （場作りなど） ※該当する箇所に○をしてください。
取組（事業）の段階	①構想段階 ② 実施段階 ③発展段階 ※該当する箇所に○をしてください。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●場所 角間温泉岩屋館 ●規模 薪の使用量 150立米（薪ボイラー3台総量） ●方法 薪ボイラー（ATOウッドボイラー）を3台導入し、新設予定の日帰り入浴施設の源泉（40℃）を加温するため薪ボイラーを活用した熱エネルギーを利用する。 <p>薪の供給については、年間150立米を見込んでいる。「横沢区」「角間区」と連携をして「(仮)角間薪ステーション」構築の計画を進めており、使用する薪については、全て当薪ステーションから薪を購入する予定である。また、薪割り・乾燥・薪ボイラーへの薪投入など薪ボイラーの運用のための新たなスタッフを地域から2～3名雇用する予定であり、新たな雇用を創出す</p>

別紙

	る。既存の宿泊施設の待合室には、既に薪ストーブが設置されているので、薪ボイラーと合わせて薪を活用した熱エネルギーについて、入浴施設へのパネル表示、HPやパンフレットへの記載、自治区の会報誌での掲載等を利用し、施設利用者や地域住民に自然エネルギーの活用事例をPRしていく。			
事務局担当者の 連絡先	担当者所属	角間温泉岩屋館	氏名	白石 渡
	TEL	0268 - 72 - 2323	email	wataru@samadhi.co.jp
ホームページ	(URL を記載)			
備考				

- ※1) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。
- ※2) 記入欄が不足する場合は、必要に応じて適宜広げて記載してください。
- ※3) 添付書類として、①組織規約・構成員名簿（市町村不要。）、②具体的な取組内容が分かる資料（スキーム・ホームページ掲載用の写真）、③その他参考資料を添付してください。



しあわせ信州

